



経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

若者、バカ者、よそ者

先週の木曜日から今日まで、今回も、多くの方から気づきをいただきました。「はっ!」「そうか」「なるほど」「うーん」というAパターンと「なるほど」「そうか」「うーん」「はっ!」というBパターンがあります。今回はBパターンが多かった1週間でした。私の仕事の殆どは経営者を始め幹部や社員の方々の「話を聞かせていただく」ことです。何気ない会話の中に「人生の本質」や「経営の奥義」ともいえるものが潜んでいます。

顧問先の福田デンタルクリニックの福田院長は私のカリスマ主治医でもあります。健康についての殆どはこの先生からの教えです。御蔭さまで、平温が35度しかなくて、季節の変わり目に風邪をこじらせて声がでなくて、多くの人に迷惑をかけていましたが、今では36度5分以上になり、めったに風邪をひかなくなりました。体重も減り、体調も良く、年に100回以上の出張がありますが、元気で活動させていただいています。先日、食事の時に、かむと痛い日が続いたので、先生に診ていただきました。すると、噛み合わせを調整し、少し歯を研磨するだけでしたが、しばらくすると嘘のように痛みが消えました。

「人間の体は精巧にできているんです。きちんと手入れをしてあげないと悲鳴を上げるんです。3カ月に一度は診せて下さい」と言われました。少し手入れをさぼっている自分を発見して「はっ!」としました。

平成元年に沖縄に赴任して以来、ご縁をいただいている女性経営者の長濱文子様が85歳にして本を出版され、出版祝賀会があり参加しました。「なぎなたに夢を馳せて」（長濱文子著、日本武道館刊）という本です。ぜひ読みください。いつお会いしても凜として、人とのご縁をととても大事にされていたので、あるとき、未知のタクシー事業の再建を引き受けられ、日本でも数台しかなかったNTTの車載

携帯電話をいち早く導入し、それがご縁で、NTTドコモが誕生した時にショップも依頼されて経営されました。人助けのつもりで始めた事業が本業を上回る利益を出し、ご縁がご縁を呼ぶ経営をされました。「社員は我が子」が口癖で母親のように公私にわたる面倒を見てこられ、早朝、おにぎりを作って食べさせ、出発する時は門に立って見送っておられました。気がつくと両手に余るほどの会社を運営され、多くの会社を一人で見ることはできませんので、幹部を信頼して仕事を任せられました。それは既に退職した社員の多くが参加していたことからわかります。「育てたと思っていたら、自分が育てられていた」といわれ「はっ!」としました。

26年来のご縁をいただいている創業経営者の2代目後継者の方の講演があり参加しました。創業経営者の當野茂雄様とは公私ともにお世話になっていますが、非常な勉強熱心で、学んだことをオウム返しに社員に講義する経営者とは異なり、自らの戒めとしておられます。しかも、非常な「人たらし」で、あるとき、私が風邪をひいて声が出ないので支援を延期していただいていた時、自宅にお見舞いを届けていただきました。仕事には厳しい方ですが、人間には優しい方です。2代目後継者との関係も非常にスムーズに進み、事業継承のモデルともいえます。その2代目後継者の正樹様の言葉の中に「私の好きな言葉に『あなたが生まれたときあなたは泣いて周りは笑っていたでしょう。だからあなたが死ぬときは周りが泣いてあなたが笑っているような人生を歩みなさい』というのがあります。父を尊敬し、いいなりにならず、会社を発展させてゆきたい」とありました。本気で後継を考えていない自分に「はっ!」としました。

「世の中を変えるのは若者、バカ者、よそ者だ。自分の物差しに合わないからと言って排除するのでは先が見えている」と教えていただいた2代目経営者の元義様、「困った時は天の配慮、良いことは先祖の遺徳だ」と教えていただいた2代目経営者の昌司様、「自分がこの仕事を続けてゆけるのは、完成した現場を見た時、鳥肌が立つほど感動したからだ」といっていた大輔様。沢山の気づきの機会を与您いただき感謝します。

株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014
那覇市松尾 1-18-22 8階
TEL098-864-0331
FAX098-860-3416
Email : mec@mekata.co.jp

京都 〒603-8478
京都市北区大宮釈迦谷 4-10
TEL075-334-5105
FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」
得意ワザ「見える化」技術
嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中!!
お電話ください。 098-864-0331